

令和5(2023)年度 高校生読書活動推進事業

# 読書コンシェルジュ 学校での活動計画



栃木県教育委員会では、高校生読書活動推進リーダー「読書コンシェルジュ」の育成・任命を行っています。

本資料は、令和5年8月に、読書コンシェルジュが同世代に読書の楽しさを広めるために作成した活動計画書をまとめたものです。

今後、読書コンシェルジュは、本資料を参考にしながら、所属校で読書活動推進に係る取組を実施することとしています。

栃木県教育委員会

【テーマ】 『今』の自分にプラスになる読書

【活動時期】 1月～

【活動場所】 図書館、各学年の廊下

【活動内容】

- ・生徒が図書館に行かないのは、学習への効率を重視しているからではないか（朝読の時間に参考書を読む、本を読む時間がもったいないなど）というところに焦点をあて、直近の「自分のためになる本」を集める。例としては、各教科の先生や読書コンシェルジュからのオススメ本をまとめる。（教科ごとにポップなどを作成）
- ・授業で扱った物語や内容に関連する本（作家の伝記など）を各学年の廊下に展示する。ポスター1枚にまとめて掲示してもよい。（図書館へ誘導する）

【期待される効果】

- ・図書館の利用率、貸出数の増加。
- ・各教科の理解度アップにつながる。
- ・本は「ためになる」の意識が高まる。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・本の紹介ポップ
- ・先生への聞き込み調査
- ・設置場所の確認

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・作成したポップ等の展示。展示場所の確保。
- ・校内放送等での呼びかけ。

【テーマ】 ○○っぽい作家

【活動時期】 11月～

【活動場所】 図書館前、図書館、階段、教室横の掲示板、各学年の廊下

【活動内容】

- ・○○が好きな人はこういう本（作家）が好きかも、という紹介をする。  
（通販サイトの「この商品を買った人は…」みたいなことがしたい）
- ・○○は音楽、アニメ、漫画、他の本など何でもよい。
- ・ミニグッズ（例：ミニ本、しおり）を作ると効果が上がるかもしれない。

【期待される効果】

- ・本の貸出数の増加。作者にハマれば継続的な増加も見込まれる。
- ・利用者数の増加。借りに行く手間を省く工夫は必要かもしれない。（Teamsを活用した貸出代行）

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・多くの人が好きそうなものの調査
- ・掲示物の作成

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・掲示、宣伝（図書委員に声をかけてもよい）

【テーマ】 本に触れよう！

【活動時期】 9月～2月

【活動場所】 校舎内

【活動内容】

- ①図書検定 図書館についての4択問題の図書検定を行う。(9月は2級、10月は準1級、11月は1級を昼休みに開催する)
- ②読み聞かせ 月に1回、昼休みに図書館で絵本や短編小説などの読み聞かせを行う。(10月、11月、12月開催)
- ③スタンプラリー 月に1回、昼休みにスタンプラリーを行う。(図書委員がヒントを与え、本に挟んだ当たりを見つけてもらい、その本を借りてもらう。)
- ④出張展示 特別教室前に趣旨にあった本(話題の本、有名アーティストが愛読している本など)をポップとともに展示する。

【期待される効果】

- ・普段図書館に来ない人が来ることで、図書館の利用者が増加する。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ①検定の問題作成、ポスター作成、呼び込み、試験の実施、採点、結果発表・受け渡し、景品決め
- ②読む本、読み聞かせの担当者・日時の決定、ポスター作成、呼び込み、実施
- ③景品を挟む本やヒント内容の決定、実施、5つ見つけた人に後日景品の贈呈
- ④出張本の決定、場所の決定、ポップ作成、掲示、回収

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ①問題用紙 ②本 ③挟む本、ポイント用紙、スタンプ ④本、飾り、紹介ポップ、展示台

【テーマ】 本に興味を持ってもらう

【活動時期】 10月下旬～

【活動場所】 校舎内

【活動内容】

- ・学校の先生におすすめの本と作中の推しのキャラクターなどについて聞き取り、ポップを作成する。ポップは本とともに図書館に展示する。
- ・出張展示を行う。

【期待される効果】

- ・本を読まない人も図書館に来るきっかけとなる。
- ・本に興味を持ち、身近に感じてもらえる。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・秋までに先生におすすめの本と作中の推しをアンケートに書いてもらう。

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・宣伝用のポスターを貼り、放送する。

## No. 5

## R 5 読書コンシェルジュ活動計画書

【テーマ】 より多くの方が本に触れられるように

【活動時期】

【活動場所】 部活動活動場所・購買付近

【活動内容】

- ・展示位置の変更（昼休みの購買付近など、人の集まりやすい場所）を行い、先生や図書委員のおすすめ本を紹介する。

【期待される効果】

- ・本が目につくことから、本に興味を持ってもらえる。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・本の選定、本の配置位置決定

【実施日の取組内容・必要な物品等】

## No. 6

## R 5 読書コンシェルジュ活動計画書

【テーマ】 新しい本との出会い

【活動時期】 10～12月

【活動場所】 校舎内

【活動内容】

- ・昇降口に掲示してあるポスターをリニューアルする。（先生のおすすめの本を紹介）
- ・作品内に登場する一節と作品タイトル、所蔵場所を書いたものをくじにして図書館に設置する。

【期待される効果】

- ・本を今よりも身近に感じてもらう。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・協力して頂く先生を探す。
- ・ポスター用紙、カラーペン
- ・本を何冊か探す。
- ・くじを作成する。

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・ポスターの掲示
- ・図書だより内にくじのお知らせを入れてもらうよう、図書委員に依頼する。

【テーマ】 思わず表紙読みしたくなる色相環

【活動時期】 10月中

【活動場所】 校舎内

【活動内容】

- ・図書館内で印象的な表紙の本を集めて、色相環のように並べる。
- ・ポップで本のジャンルを紹介する。
- ・どの本が一番興味を引いたか投票してもらう。

【期待される効果】

- ・どの本を読んだらよいか分からない人たちに本の紹介ができる。
- ・表紙で本を選んでよいことが伝えられる。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・図書館で印象的な表紙の本を集める。
- ・大まかなジャンルの説明を作る。
- ・構内にポスター掲示、各クラスへの呼びかけ。
- ・投票用掲示紙にシールを貼ってもらう。

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・本のレイアウト、呼びかけ、投票。
- ・構内にポスターを貼り、宣伝する。
- ・図書館で結果発表を行う。

【テーマ】 ポップアップ作り

【活動時期】 11月～12月または2月

【活動場所】 各教室

【活動内容】

- ・3年生以外で学年ごとに飾る時期をずらし、図書館で借りた本で、ポップアップ作りをする。
- ・3学期に1週間ごとにそれぞれのクラスの1～4人グループで作成したポップアップを掲載する。(作成したものに関する投票は行わない)

【期待される効果】

- ・1人で作らなくても良いため、面倒な人は楽をすることができる。
- ・普段は読まない本などに興味がわく。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・ポストカードくらいの厚紙を1クラスに15～20枚程度用意する。
- ・呼びかけを図書委員の人をお願いする。

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・文化祭やテスト終わりの日から1か月間で作成してもらう。
- ・グループや個別で使うものは用意してもらう。
- ・締め切りに間に合うよう空いている時間を有効に活用してもらう。

【テーマ】 くじでパートナーを見つけよう！

【活動時期】

【活動場所】 図書館、各年次の靴箱付近

【活動内容】

- ・くじ引きで小説などから抜き出した1文が書かれた紙を引き、その紙を持って自ら図書館で本を探す。

【期待される効果】

- ・引いたくじには1文のみ記載されているので、内容が気になる。
- ・自分で本を探すため、宝探し気分を味わえる。
- ・図書館を訪れる人が増加する。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・選書、どの1文をくじに入れるかの決定
- ・くじ引き用の箱の作成（段ボール、画用紙、カラーペン、はさみ、カッター、紙）

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・親しい友人などに紹介する。

【テーマ】 なぜとき要素で関心を

【活動時期】 2週間ほど

【活動場所】 校内

【活動内容】

- ・本の内容を書いた本を穴抜き式の問題にして図書館や廊下などに置いておく。
- ・本を実際に借りてもらい、穴抜き問題を埋めてもらう。その後、図書館で答えを出してもらい、全問正解だった人に景品を贈呈する。

【期待される効果】

- ・本を借りるだけで実際に読まない人を減少させることができる。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・紙、問題を置くスペース
- ・景品（みんなの興味を引き、予算内に収まるもの）

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・ポスター作成、ホームルームでの宣伝

【テーマ】 Curiosity

【活動時期】 10月～

【活動場所】 図書館・昇降口

【活動内容】

- ・本のイメージカラーを考え、そのカラー用紙を本に巻き付け、表示に目次だけを書いて展示する。
- ・小説から抜き出した1文を紙に書き、その紙を箱の中に入れてくじ引きを実施し、図書館に来てもらう。

【期待される効果】

- ・本への好奇心が高まり、図書館の利用者数を増やす。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・カラー用紙、ペン、シール、本
- ・段ボール、画用紙、模造紙（くじ引き箱作成用）

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・カラー本の設置
- ・昇降口にくじ引きを置く。

【テーマ】 誰もが通いたくなる図書館

【活動時期】 実施後から年度末まで

【活動場所】 図書館

【活動内容】

- ・1か月など期間を決めて、1つのジャンルを紹介する。ミステリー一月間にした場合、さらに細かいジャンルを設け、警察中心のもの、医療視点のもの、犯人視点のもの等に分類して展示する。
- ・あらかじめ生徒や先生から、ジャンル別のおすすめの作品のアンケートを実施し、おすすめのポイントや感想を展示作品と一緒に掲示する。
- ・展示が軌道に乗ったら、貸出冊数をクラスや学年で競う。

【期待される効果】

- ・本に興味がない人も、大々的に取り上げられると気になって貸出につながる。
- ・ジャンルごとの良いところが目につきやすくなり、好きなジャンルが増える可能性がある。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・アンケートの用意、展示の準備（選書、レイアウト、ポップ作成）

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・展示場所の確保

【テーマ】 校内に隠された7つの図書館を探せ！

【活動時期】 2週間程度

【活動場所】 校内のいたるところ

【活動内容】

- ・美術室前に美術関係の本を置いたり、昇降口に「インパクト強すぎタイトル図書館」を設置したりし、校内7か所に出張図書館を作る。設置場所ごとに、デザインの違うカードを置いて、カードのコンプリートを目指す。
- ・展示している本に興味を持ったら、図書館で借りられる。
- ・設置場所は公表せず、見つける楽しさを味わってもらう。

【期待される効果】

- ・学校生活の中に本を滑り込ませることで、図書館に行かない生徒にも本に興味を持ってもらえる。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・7種のカード（美術部にデザインしてもらえると良い）
- ・本を並べるテーブル、ヒントマップ、ポスター、本とポップ
- ・設置場所ごとのコンセプト（1回も借りられたことのない本など）

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・カードや本の様子見。活動前に放送で宣伝する。

【テーマ】 アンケートによる生徒の心の見える化

【活動時期】 10月中旬頃～（テスト終了後）

【活動場所】 各学年フロア、昇降口、図書館

【活動内容】

- ・誰にでもインパクトが残るような、必ず目に入る展示、紹介を行う。
- ・アンケートを行い、生徒の悩みを明確にし、本で解決する。
- ・最近話題を呼んでいる（実写化された）ものを紹介し、まず展示を見てもらう。何回か違うジャンルの紹介を行い、多くの人に興味を持つようにする。
- ・学級文庫を設置する。（週番が月曜に本を借りて金曜に返すことを続ける）

【期待される効果】

- ・生徒の悩みを本で解決し、本を読むきっかけにする。
- ・インパクトのあるパネルで本を全く読まない人にも注目が得られる。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・生徒の悩みに合いそうな本を探す。情報収集する。
- ・段ボールや厚紙などパネルに使いそうな材料を集める。
- ・図書委員などに協力してもらう。
- ・アンケートは項目を用意して○をつけてもらう。

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・パネルの設置場所の確保。アンケートの許可。



【テーマ】 忙しい人でも本に興味を持ち、好きなジャンルが分かる。

【活動時期】 11月～

【活動場所】 校内の廊下など

【活動内容】

- ①校舎内のいたるところに Yes・No チャートを掲示する。
- ②短編集から1話ずつ、ジャンルごとにピックアップし、おすすめの本を紹介する。
- ③アニメや映画ファンに向けて、アニメの原作や関連のある本、小説化された本をクラスごとに週ごとまたは月ごとに回していく。
- ④好きな本のアンケートをとる。
- ⑤様々な部活や委員会とコラボする。
- ⑥本（新作）の出張展示をする。
- ⑦ポップ大会を開催する。

【期待される効果】

- ①Yes・No チャートがあると、友達と一緒に心理テストのように盛り上がれて、自分に合った本にも興味を持てる。
- ②数ページの短編であれば、朝読書の時間に読むことができる。いろいろなジャンルの本の一部分を簡潔に知ることができるため、一番興味があったジャンルの長編小説や同じ作者の作品を読むきっかけになる。
- ③アニメでは省略されてしまった部分を知ることができるので、楽しんでもらえる。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・インターネットを参考にチャートを用意して、校内中に貼る。
- ・クラスごとや学年などでポップ募集期間を設けて、名前を伏せて投票を行う。
- ・ポップ用の厚紙、投票箱、会場

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・投票の取締り、ポップ掲示、開催場所・チャートの準備。

【テーマ】 ミリ知ら（1ミリも知らない）本で新しい本との出会いを

【活動時期】 10月～

【活動場所】 図書館

【活動内容】

- ・覆面図書のように紙で作成したブックカバーで表紙が見えないようにする。
- ・ブックカバーに、その本を読んだことがない人にあらすじを予想して書いてもらう。（テーマはあってもなくても自由、登場人物の顔（予想）なども可）
- ・図書館内で展示する。一部は、出張図書のように、図書館外に展示する。できなかつたらポスター等で宣伝する。
- ・校内放送等で宣伝する。

【期待される効果】

- ・新しい本との出会いを作ることができる。
- ・あまり読書をしない人の興味を引くことができる。（図書館の利用率、本の貸出数の増加）

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・本は図書委員、読書コンシェルジュで決め、その中で知らない本を回して書く。先生や友達に書いてもらってもよい。
- ・図書委員で展示する。先生に展示場所を確保してもらう。
- ・宣伝する。読書コンシェルジュが放送をする。図書委員にポスターを作ってもらう。

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・本の展示コーナーを作って並べる。図書館に置いてある布や小物を用いて飾りつけをする。
- ・ポスターを学校内に貼る。

【テーマ】 未定

【活動時期】 11月～12月

【活動場所】 校内、図書館

【活動内容】

- ・冬休みに本を読んでもらうため、クリスマスイベントを行う。
- ①本の福袋 本2冊（ジャンルが被らないよう、図書委員で選ぶ）
- ②クリスマス抽選会 ルールは、図書委員・先生と相談して決める。

【期待される効果】

- ・普段図書館を利用しない人や本を読まない人でも遊び感覚で図書館に足を運んでもらえる。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・紙袋、飾り、景品（図書カード、しおり）、抽選券、PRポスター
- ・抽選は生徒だけでなく教員も参加（50～70枚くらい配布予定）

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・ポスターを校内数か所に貼り、図書委員が各クラスに呼びかける。
- ・抽選券は、借りた本の感想を書く必要がある。感想は校内に展示する。

【テーマ】 読まれていない本をなくすために

【活動時期】 10月～2月または3月まで

【活動場所】 2階、3階の廊下

【活動内容】

- ・出張図書館
- ・感想カード
- ・アンケート調査
- ・意見箱（図書館、出張図書館の改善点）

【期待される効果】

- ・本への関心が高まる。朝の読書の時間で読んでいない人を減らせる。
- ・図書館へ足を運んでもらえる。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・机、返却ボックス、貸出用の紙、ペン、大きな紙、しおり、感想カード用の紙、改善点を書いてもらうための意見箱、リクエスト箱
- ・読みたい本のアンケートをとる。ポスターを作成する。

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・本の返却時に感想カードを記入してもらう。カードは掲示する。
- ・返却された本の回収や貸出用の紙の回収は、図書委員に依頼する。

【テーマ】 本に興味を持ってもらう／新しい本に出会うことで読書の機会が増える

【活動時期】 9月～3月

【活動場所】 図書館、渡り廊下

【活動内容】

- ・好きな作家または本を生徒からアンケートで聞く。そこで挙がった作家から1人決めて、渡り廊下の本棚に、本を展示する（2か月に1回）。ポップや本の感想も飾り、興味を持ってもらえるようにする。
- ・本リレー テーマを1つ決め、テーマに沿った本と読んだ感想を自由に置く。

【期待される効果】

- ・展示やリレーの感想に興味を持って、本を読む人が増加する。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・マスキングテープ、ポップ用の紙、飾り
- ・先生、生徒への呼びかけ
- ・司書の先生に棚をもらう、本を借りる
- ・アンケートから作家を決める
- ・ポスター作り

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・本リレー感想用の紙を入れる箱、感想掲示用のテープまたは画鋏
- ・図書委員に協力を依頼し、各クラスにお知らせしてもらう
- ・各クラスにポスターを貼って、本リレーと点字を認知してもらう

【テーマ】 自分が受ける科目のおすすめ本紹介

【活動時期】 1年間

【活動場所】 校内、授業で使われる教室の周辺

【活動内容】

- ・教科ごとのおすすめ本をポスターにまとめて、その教科の授業時に使われる教室またはその近くに掲示する。
- ・美術室には美術部、美術選択者、美術に関心がある人が集まるので、題材になりそうな本、美術をテーマにしたお話などをまとめる。物理室には、物理をテーマにした本だけでなく、分かりやすく解説している本などもまとめる。

【期待される効果】

- ・読書＝小説といった考えが弱まる。勉強に本を有効活用するお手伝いになる。
- ・授業ごとに分けられるので、必要な分野の本を知ることができる。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・科目ごとのおすすめ本の選書、ポスターづくりの材料。
- ・ポスターを貼る場所を確保する。教科ごとに先生におすすめ本を質問する。

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・ポスターを貼る。貼る場所がない場合は、配布する。

【テーマ】 ジャンル別に本棚をつくる！

【活動時期】 11月、12月

【活動場所】 図書館

【活動内容】

- ・部活や医療、芸術といったジャンル別にオリジナルの本棚を作る。本棚にはポップを作ったり、実際に読んだ人が感想を書けるスペースを設ける。
- ・校内に、どのジャンルのブースがあるのかを知らせるポスター等を作成し、掲示する。

【期待される効果】

- ・部活に入っている人や進路として考えている人などを中心に本を手にとってもらえる。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・ジャンルと本棚の規模を決める。ポップやポスターを作成する人を決める。(10月)
- ・紙、カラーペン、シール

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・本棚を完成させ、ポップを展示する。ポスターを掲示する。(11月～12月)
- ・実際に本を借りて読んだ人に感想を書いてもらう。(ふせん、ペン)

【テーマ】 百人一首を利用してみんなに図書館を利用してもらう

【活動時期】 1月～12月

【活動場所】 渡り廊下、教室

【活動内容】

- ・毎年3月頃に高校でかるた大会があるので、大会の1～2か月前から、百人一首や多くの和歌が生まれた平安時代についての本を教室や廊下などの生徒がよく利用する場所に特設コーナーとして出張展示をする。

【期待される効果】

- ・図書館に百人一首などに関連した本がたくさんあるということを発信できる。
- ・大会のために図書館で本を借りる人が増える。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・長テーブル、本のポップ、本
- ・出張展示が難しい場合は、ポスターを作成して生徒の目の届きやすい場所に貼る。

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・長テーブル、本、ポップ、平安風の飾り
- ・出張展示が難しい場合は、図書館で展示する。
- ・校内放送などを利用して宣伝する。(豆知識、今日の一首)

【テーマ】 狙い撃ちっ！

【活動時期】 無理のない範囲で

【活動場所】 図書館

【活動内容】

- ・ターゲットを絞った展示を行う(部活、推し、アニメやゲーム、映画)

【期待される効果】

- ・ターゲットを絞る→確実に誰か図書館に来る→多くの方は友人と一緒に来る→図書館にたくさんの方が集まる

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・図書館だよりによる宣伝
- ・美術部に絵の依頼
- ・展示場所の確保

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・本、イラストなどテーマに合うもの

【テーマ】 図書館を日常の一角に！

【活動時期】 年単位

【活動場所】 図書館

【活動内容】

- ・「本や図書館を身近に、そして日常にする」という目標達成のために、図書館での様々なテーマによるコーナー設置、イベントの企画運営を行う。(例：小テスト点数向上のためのコーナー設置。教室から図書館に行くには階段の上り下りがあるので、運動（ダイエット、ストレッチ、運動部の本）コーナーを設置。紹介プリントの作成と配布。)
- ・図書館の雰囲気を良くし、来たいと思わせる。

【期待される効果】

- ・本のことを考えてもらう機会が増える。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・秋に試行し、冬は受験を控える3年生のためにイベントは行わず、来年度の春の実施に向けた反省と準備を行う。
- ・日常化のためには「人」が必要。

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・実施期間中に貸し出された本の統計をとる。常に宣伝を行う。

【テーマ】 あなたによりそう読書冊子

【活動時期】 年内

【活動場所】 図書館、教室

【活動内容】

- ・クラッシーでアンケートを実施する（「好きな本、まんが、アニメ、ドラマ、グループ、趣味など」「どんな本を読みたいか、ない場合はその理由」「悩み」）
- ・生徒に寄り添った本を選び、用紙またはパソコンでまとめる。
- ・冊子を各教室と図書館に置く。図書館に展示する。
- ・図書委員に次年度からやってもらう。

【期待される効果】

- ・好きなことからつなげることで、読書のハードルを下げる。
- ・本は読んでみたら楽しいけれどどんな本を読めばいいか分からない、選べないという人にも役立つ。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・先生に許可を取り、クラッシーでアンケートを作る。
- ・アンケートを集計し、冊子づくりに役立つような意見をピックアップする。
- ・選書（読書コンシェルジュ、司書に協力をお願いする）

【テーマ】 押し活と本で新しい世界を知ろう！！

【活動時期】 11月～3月

【活動場所】 学校内

【活動内容】

- ・廊下などのスペースに本とポップを展示する。（例：「推しってどういう心理？」→心理学の本、「私の推しの作家さん！」→好きな作家の小説、「みんなの推しレシピは何？」→レシピ本）
- ・クラス教室の前に1冊（1回ごとに5～7冊）紹介する。
- ・生徒から推しの本とポップを募る。

【期待される効果】

- ・押し×本＝押し活をしている生徒に、本は身近な存在と思ってもらう。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・図書委員と読書コンシェルジュで本（ジャンル）を選定する。
- ・先生に協力してもらい、生徒への呼びかけを行う。
- ・ポップ用の紙、マーカー、マスキングテープ、推したい本

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・ポップと本の展示
- ・ポップ、本、机または椅子

【テーマ】 自分の押しジャンルを探そう！

【活動時期】 10月～

【活動場所】 校内

【活動内容】

- ・各ジャンルの面白い点をまとめたチラシを作り、自分に興味のあるジャンルを知ってもらう。
- ・チラシで自分の興味のあるジャンルを知ってもらい、空き教室に各ジャンルのおすすめを置く。

【期待される効果】

- ・自分の好きや興味から入ることで、もっと読書に興味を持ってもらえる。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・チラシの作成（紙の印刷には先生の許可が必要）
- ・それぞれのジャンルのおすすめの1冊を選び、出張図書館でどこの教室を使うか決める。
- ・本と一緒にポップを置いておく。

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・空き教室に本を展示し、チラシを配布する。

【テーマ】 皆で本を楽しもう！

【活動時期】 ①10月～12月 ②9月下旬～2月 ③10月～12月

【活動場所】 校内

【活動内容】

- ①読書リレー 様々なジャンル（映像化されたもの、スポーツに関するものなど）の本を用意する。生徒は好きな本を選んで読み、紹介文を書く。次に読んだ人は前の人の紹介文に対するコメントを書く。1冊あたり10人に読んでもらい、コメント欄を埋める。
- ②相棒推探（おしさがし） 本の主人公または著者のプロフィール帳を作成する。（名前、性別、年齢、職業、性格、一人称、周りから何て呼ばれている、好き嫌い、印象に残るひとこと、本）
- ③イベントの開催 (1)みんなで本を持ち寄って、本を紹介する。（ビブリオバトルとは異なる）  
(2)本一番くじ（ジャンルごとに本を複数用意し、くじに書いてある番号のジャンルを読む）

【期待される効果】

- ①1冊の本を何人もの人が読むので、様々な感想や考えが出てくる。このコメントに興味を持って、本を手取る人がいると思うので、少しずつ読書する人が増える。
- ②本の中に推しができることで、本が好きになる。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・ポスター作り。①と②のテンプレート作りと印刷。
- ・くじの作成、選書、展示許可

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ①読書リレー開催のポスターを貼る。呼びかける。

【テーマ】 本好きのきっかけ作り

【活動時期】 3月まで

【活動場所】 図書館

【活動内容】

- ・月に1回のおたより作成とイベントの開催（有名人、先生のおすすめ本、推しキャラ本、映像化紹介本、本の登場人物のファッション紹介等）
- ・文化祭にて、本のイベントを開催（本を見つけ出すゲーム、本の場面を再現した映えスポット、本とSNS映えコンクール、ポップコンクールなど）
- ・他の部活などとのコラボ（まんが部、文芸同好会など）

【期待される効果】

- ・図書館に行かない人でも、本に触れる機会となり、読書のきっかけとなる。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・文化祭は先生に相談する。イベントは提案の書類を作って先生に相談する。

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・文化祭前に撮影する。



【テーマ】 映像から本へ

【活動時期】 文化祭

【活動場所】 体育館や多目的ホールなど

【活動内容】

- ・ 紹介したい本の内容の一部やあらすじを分かりやすく演劇にまとめて見せる。
- ・ 演劇は作品の一部だけとし、続きが気になるようにする。

【期待される効果】

- ・ 楽しみながら見れる。続きを本で読んでくれる。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・ 演劇する人との協力、本の中に出てくる道具や背景を再現する必要がある。
- ・ 登場人物の気持ちを体の動きや表現で再現する必要がある。

【テーマ】 未定

【活動時期】

【活動場所】 図書館

【活動内容】

- ・ 本をジャケ買いする人をターゲットに、表紙や挿絵を種類（格好良い系、かわいい系など）に分けて展示する。

【期待される効果】

- ・ ジャケ買いにより本を読むことで、同じイラストレーターが手掛ける他の本にも興味を持つようになる。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・ 本、紙、ペン
- ・ 図書委員と協力してジャンルごとの本を探す。

【テーマ】 新しい図書館のイメージを作ろう！本と始める“楽習”

【活動時期】 9月～

【活動場所】 図書館

【活動内容】

- ・「図書館に興味はあるが行かない人」を「図書館&本好き」にする。
- ・「図書館＝静かにしなければいけない場所」のイメージから「交流の場」へのイメージ転換を図る。
- ①「図書館の使い方の例」等のポスターを貼る。
- ②出張図書館や図書館支部の設置&図書館の内装の改良。
- ③まんが等、学習するにあたって難易度の低い本の導入、テーマ別おすすめ本コーナーの設置
- ④「僕私達のイチオシ掲示板」の設置（おすすめしたい本を黒板またはホワイトボードに自由に書いてもらう）、ビブリオバトル等のイベント開催。

【期待される効果】

- ・本、図書館や学習への意欲を持ってもらい、最終的には友達と一緒に本を楽しめるようになる。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・観葉植物のレプリカ、インテリア、ポスター用の紙、ミニ黒板、チョーク

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・1月：十二支の動物に関する本を福袋にする。赤い袋。

【テーマ】 目指せ☆5！本ガチャ！

【活動時期】 無期限（開始は準備が整い次第）

【活動場所】 図書館（設置場所は図書館外）

【活動内容】

- ・ガチャの中身を本の紹介（一行、表紙、ポップ、日本十進分類法に基づく番号など）を書いたものにし、本の興味を高める。
- ・初心者（本にあまり関心がない人向け）ガチャと常連（本に関心がある人向け）ガチャを2台設置し、引いた景品の本を借りるように促す。
- ・数か月に一度景品を交換する。

【期待される効果】

- ・本ガチャを引きに来たついでに本を借りるかもしれない。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・ガチャマシンの作成（段ボールを使用）
- ・本の紹介などを書いたカード（番号の場合はサイコロも可）。カードは図書委員に書いてもらう。

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・図書館外にガチャマシン設置（机が必要）
- ・ポスターを各クラスに掲示、図書委員に SHR 等で呼びかけてもらう。

【テーマ】 参加型イベントで図書館利用、貸出数の上昇

【活動時期】 いつでも

【活動場所】 図書館など

【活動内容】

- ・ビンゴ 本の題名の頭文字でビンゴを実施する。クエストが書かれたビンゴを達成したら、その本の名前を書く（景品あり）。
- ・宝探し 本の題名を参加者に渡し、その本を探してもらう。本の題名、場所を書いた紙を図書館に隠す。
- ・表紙が特徴的な本の題名を隠して紹介する。

【期待される効果】

- ・新ジャンルの開拓。図書館の利用者、本の貸出数の増加。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・ビンゴの紙（9×9）、紙

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・本の展示。紙を隠す。

【テーマ】 教科書から新しい本と出会う

【活動時期】 2学期はじめ

【活動場所】 図書館

【活動内容】

- ・教科書に取り上げられる内容から派生した本を展示する。  
例 国語：教科書に掲載された作品、同じ作者の別作品や似たテーマの本、書評  
英語：英文で書かれた本、教科書に載っている話題に関連する本、海外作者の本  
理科・社会：教科書に掲載している社会問題や環境問題に関する評論  
(同じ意見の本は並べない)  
小学校・中学校の教科書に掲載された作品も展示する。

【期待される効果】

- ・全く知らない本と出会うわけではないので、読みやすい。共通テスト対策になるかもしれない。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・場所の確保、広報、新カリキュラムになってからの教科書の内容把握、選書
- ・紹介に必要なポップ、協力者を探す

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・実施、宣伝

【テーマ】 ポップアップ

【活動時期】 11月～

【活動場所】 図書館、教室の後ろの黒板（ポスター掲示）

【活動内容】

- ・ 作者、季節もの、流行のものをピックアップし、ポップ付きで掲示。ポップには、見所、作者についての情報、地元の本屋に取扱いがあるかを記入する。3か月おきに入れ替える。ポップ作りは、図書委員に協力を依頼する。

【期待される効果】

- ・ 本に興味がある人の読書の幅が広がる。
- ・ 最近、表に出ていない本をアピールできる。
- ・ 芥川賞などを知ることができる。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・ 紙（ポップ・ポスター）
- ・ 選書と、選んだ本の作者などについての情報収集
- ・ 図書館利用の許可

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・ 貸出状況の集計

【テーマ】 主人公をとおして本と出会う

【活動時期】 秋頃

【活動場所】 図書館の入口

【活動内容】

- ・ 主人公の年齢や性格が同じ本を展示する。

【期待される効果】

- ・ 本に興味を持ってもらい、本を読む人が増える。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・ 本のテーマ決め
- ・ 展示する本選び、飾り作成（用紙、カラーペン）

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・ 本の展示と周りの飾り付け
- ・ 各クラスへの呼びかけ

【テ ー マ】 高校生に本に興味や親しみを持ってもらおう

【活動時期】 8月～

【活動場所】 校内

【活動内容】

- ①各学年の学年主任と2学年の担任の先生におすすめの本（内容、好きな場面、本を知ったきっかけ、本を読んで良かったこと）などを書いてもらい、その紙を廊下に掲示、タブレットで配信する。
- ②読書コンシェルジュおすすめの本トップ3を考え本のポップを作り、掲示する。本屋大賞の本をまとめて（ポップなどを作る）掲示・配信する。

【期待される効果】

- ①知っている先生のおすすめ本を見ることで、本に興味や親しみを持つきっかけになる。
- ②面白そうと思ってもらえれば、本に手を伸ばすきっかけになる。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・先生におすすめの本の紹介を書いてもらう。（書いてもらうための紙を用意する）
- ・タブレット配信ができるか確認する。
- ・本のポップを貼る場所を相談する。

【テ ー マ】 流行を利用して高校生に本に興味を持ってもらおう

【活動時期】 8月～

【活動場所】 校内

【活動内容】

- ・本に登場するキャラクターのmbti（性格分類）を診断して、自分のmbtiと重ね合わせて、どの本が自分と合うのかを目に見える形にして、本を手取るように促す。

【期待される効果】

- ・流行であるmbtiを利用し、本と結びつけることで本を手取るきっかけを作る。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・キャラクターのmbtiを考える。
- ・本の内容とキャラクターのmbtiを書いた紙を用意し、掲示・配信する。
- ・タブレットを利用した活動ができるか相談する。
- ・本とキャラクターを決める。

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・本の紹介とキャラクターのmbtiを書いた紙を廊下に掲示する。

【テーマ】 図書館をより身近に

【活動時期】 夏休み明け

【活動場所】 図書館

【活動内容】

- ・図書館をより身近に感じてもらうために、読書目的ではなく、勉強場所の穴場スポットとして図書館に来る人を増やし、ついで感覚で本を手にとってもらう。

【期待される効果】

- ・自習室の空気感が苦手な人が勉強場所の選択で図書館を選び、利用者数・本の貸出数が増加する。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・クラッシーで、図書館で自習できるという情報を広める。

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・クラッシー

【テーマ】 本にふれる人を増やす！

【活動時期】 9～3月

【活動場所】 校内

【活動内容】

- ①月に1度テーマを決めて、図書委員で5～10冊程度本を選び、教室に置く。テーマは、行事や季節、食べ物など。
- ②先生のおすすめ本を紹介するポスターを作成し、廊下や教室などに貼る。

【期待される効果】

- ・教室に置くことで読みやすくなる。
- ・先生のことを知ることができる。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・それぞれのクラスでテーマを決める（図書委員）
- ・本をなくさないようにするための箱、袋など
- ・先生にアンケートを行い、結果をポスターにする（2～3か月かけて作成）

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・テーマの紙をそれぞれのクラスに入れて教室に運ぶ（図書委員、文芸委員）
- ・ポスターを校内に貼る。

【テーマ】 あまり本を読まない人、忙しい人に学校図書館に親しんでもらう

【活動時期】 10月～2月

【活動場所】 校内（特別教室や学年フロア）

【活動内容】

- ・「先生のおすすめ本」「作家の出身地と作品の地図」「チャート」などのポスターを掲示する。
- ・本の貸出（予約）のグーグルフォームを作る。
- ・生徒はポスターから借りたい本を見つけ、フォームで予約する。
- ・図書委員は予約された本から貸出処理を行い、生徒のクラスポストに入れる。
- ・返却は図書館に来てもらい、2冊目や本の楽しさの認知につなげる。

【期待される効果】

- ・図書館に忙しくて来られない人が自身の ICT 端末から学校の本を借りるようになる。→限られた人がよく使う図書館から、各々のペースで皆が楽しめる図書館に変わる。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・ポスター作り（先生のおすすめ本は、過去のポップから引用する、チャートも既存のものから引用する）
- ・パソコンで予約フォームを作る
- ・四つ切り画用紙、色画用紙、ペン

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・図書館のパソコン（一時的にパスワードを変えるなどして、図書委員が使えるようにする）
- ・メモ紙（クラスポストに本を入れるときに、借りた生徒の名前を書いて、本に貼る）
- ・放送、slack で連絡

【テーマ】 本でうまれる様々な「出会い」

【活動時期】 9月～3月

【活動場所】 校内

【活動内容】

- ・ slack で専用チャンネルを作成し、本に関するコラムの紹介や、チャンネルのメンバー同士で本をおすすめをする。
- ・ 季節やその時々イベントに合わせた特設コーナーを設置する。時期ごとに入れ替えを行いながら本を展示（またはポップなどで紹介）する。

【期待される効果】

- ・ SNS を活用することで、気軽に読書仲間を作ることができる。
- ・ 読書への退屈なイメージを少しでも変えてもらう。本を読むきっかけとなる。

【準備段階での取組内容・必要な物品等】

- ・ slack のチャンネルと、チャンネル宣伝のポスターを作成する。
- ・ 展示したい本のポップを作成する。
- ・ 展示テーマに合わせたポスターを作成する。
- ・ 本の内容に関連する人物などを展示する。

【実施日の取組内容・必要な物品等】

- ・ slack に投稿する日を週ごとなどで定期化する。決められた日に、コラム、おすすめの本の紹介をする。
- ・ 一定期間ごとに入れ替えられる簡易的な特設コーナーを設ける。可能であればテーマに沿った本を、厳しければその本の紹介文を展示する。